

令和8年6月第2回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 山崎 栄喜】

質問事項	質問要旨	答弁者
1. 道の駅再整備について	<p>3月10日に開催された議会予算決算常任委員会に、道の駅の今後の方向性が示された。</p> <p>一般質問後の説明であったため、3月議会の一般質問で質問することができなかつたので、今回次の点について村長に伺う。</p> <p>① 「道の駅はどうなっているのか」とたびたび村民から聞かれる。道の駅の現状と今後の方向性について、村長から直接この場で村民に説明を求める。</p> <p>② 道の駅の再整備を行うにしても、今年度から令和10年度までの3年間をかけて行う木島平ブランド再構築事業を踏まえて、コンセプトと機能を検討することなので、再整備は数年後になると思われる。その間に村の人口と子どもの数が減少し、利用者や農産物の出荷者が減り、運営経費や担当職員の負担も大きいと思う。方針を出すのが遅すぎるのではないか。</p> <p>③ 道の駅の運営形態も含めて検討することであるが、どのような運営を想定しているのか。</p> <p>④ 過去の一般質問において、6次産業施設は道の駅とは別に考えるとの答弁があったが、私は、木島平村の米や野菜などを使用した加工施設を併設する方が、結果的に道の駅の魅力アップにつながり、村の特産品の開発が図られて良いのではないかと思う。</p> <p>昨年2月に村が作成した道の駅再整備計画では、収益施設については収益施設の修繕等の財源確保を目的として、指定管理者から売り上げに応じた納付金を徴収するとしていた。納付金を徴収することにより村の負担が抑えられ、運営事業者にとっては施設を村が整備することによって投資額を大幅に抑えられるため参入しやすくなると思う。馬曲温泉の運営事業者募集の手法に倣い、サウンディング調査やプロポーザルにより運営事業者を募集できないか。</p>	村長
2. 集落の集会施設の改修等に対する補助について	<p>飯山市では、各区が行う共同集会施設の改修等に要する経費に対して、補助金を交付している。</p> <p>対象となる工事は、屋根・外壁・基礎・柱等の修繕、トイレ・建具・畳・照明器具等の改修、バリアフリー化工事、公衆無線LAN整備、冷暖房設備等の工事と広範囲に及んでいる。</p> <p>補助金交付の対象となる経費は5万円以上の改修等で、補助金の限度額は300万円となっている。</p>	村長

令和8年6月第2回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 山崎 栄喜】

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>補助率は10世帯以下の区が5分の4.5以内、11世帯以上25世帯以下の区が5分の4以内、26世帯以上50世帯以下の区が3分の2以内、51世帯以上の区が2分の1以内となっている。区の大小により補助率が異なり、小集落に配慮したきめ細かな対応となっている。</p> <p>本村でも、各区から改修等の要望があったときに対応できる補助金交付制度を創設すべきと考えるがどうか。</p>	
<p>3. ごみ袋の記名廃止について</p>	<p>家庭ごみを出す際に、ごみ袋に氏名を記入しているが、個人情報保護の観点から記名を廃止できないか。</p>	<p>村 長</p>
<p>4. 生涯学習の推進について</p>	<p>25年ほど前になると思うが、村は生涯学習計画を策定し、一人一花、一人一役、一人一ボランティア、一人一スポーツ、一人一趣味という5つのキャッチフレーズをもとに、生涯学習を推進してきた。立派な理念だと思う。</p> <p>人生100年時代を迎え、生きがい持って心豊かに健康で長い人生を送る。村民みんなの力で豊かな村づくりを進めるうえで、生涯学習の果たす役割は大きいと思う。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>① 生涯学習計画を策定してから25年くらい経ち、世の中も大きく変化しているが計画の見直しを行っているのか。</p> <p>② 近年、ゲートボールやマレットゴルフなどのスポーツや芸術などへの参加者が減少傾向にあり、多くの会が存亡の危機にあるのではないかと思う。それぞれの会が会員を増やす努力をすることは当然のことと思うが、行政としても何か対策を講じられないか。</p> <p>③ 公民館長は、今年の3月までは生涯学習課長が兼務していたが、この4月からは村の正規職員が当たることとなった。これは管理監督職に就かないという職員の役職定年制に反しないか。また新公民館長に何を期待しているのか。</p>	<p>村 長 教育長</p>